



住民との対話でつくる医療

一事業管理者
一関市国保関市病院藤沢病院長
佐藤元美

信頼できる医療がありますか？



藤沢病院の歴史

- 昭和43年県立藤沢病院が廃院
- 昭和57年特別養護老人ホームと国保診療所で藤沢町福祉医療センター設立
- 平成5年国保藤沢町民病院創設
- 平成8年老健と在宅介護支援センター
- 平成11年訪問看護ステーション
- 平成15年痴呆性老人グループホーム
- 平成18年自治体立優良病院総務大臣表彰
- 平成23年一関市国保藤沢病院に名称変更

藤沢病院と関連施設

- 病院 一般病床54床
- 老人保健施設
- 特別養護老人ホーム
- デイサービスセンター
- グループホーム(認知症)
- 訪問看護ステーション
- 指定居宅介護支援事業所



藤沢病院の住民との対話

- ナイトスクール
- 意見交換会（研修報告会）

ナイトスクール



住民との話し合いが必要 ナイトスクール誕生

- 病院設立から1年後から苦情, 意見が増大
 - 無診察投薬を認めて欲しい
- 私から見た患者・住民の問題
 - 保険診療のルールが知らされていない
 - 未収が多い
 - 通院中断が多い

ナイトスクールの方法

- 時期 農閑期に
- 場所 町内の集会所で
- 時間 夜7時から9時まで
- 参加 病院事業の各職種と住民
- 話題 藤沢の医療や介護の在り方
- 期間 平成6年から17年間

ナイトスクールの内容

- 平成6年度から開始
- 参加者は30名から100名
- 無診察投薬をめぐって私から説明
- 待ち時間
 - 午後診療, 土曜診療, 訪問医療, 予約制導入
- 病院について
 - 住民にとってこそかけがいのないもの
 - 大切につくり育てて欲しい
 - 住民とスタッフの定期的な意見交換が必要

住民参加・住民は医療の運営者でもある



ナイトスクール



ナイトスクール



その後のナイトスクールのテーマ

- 老人保健施設ができます
- グループホームと認知症
- 病院での看取り、自宅での看取り
- 院外処方導入の意味
- 夜間救急外来と患者の不安
- これからの医師招聘
- 生活習慣を地域で変えよう
- 自己負担金はそのたび払おう

ナイトスクールの成果

- 無診察投薬の要求が激減
- 待ち時間のクレーム減少
- 住民からの寄付増大
- 患者のモラルアップ, 未収金の減少



意見交換会

- 臨床研修医の外来実習を行いたい
- 住民と研修医の交流を通して将来を医師を育成したい



研修医の報告会に住民が参加

- 地域に必要な医師は地域で育てよう
- 研修報告会に住民が参加し、研修医を励ます
- 研修医との交流
- 2008年4月から29回







意見交換会の成果

- 研修医の外来実習に協力する患者が増えた
- 研修後に常勤、非常勤、当直など診療をしてくれる
- 住民に医師も1年目から育てていくものという考えが定着した

住民と話し合う病院

- 医療者は住民を知り住民の役に立つ医療を実践する
- 住民は病院を知り、育て、支える
- 医療の質は医療者と住民の話し合いで高められる
- 医療の質改善は医療過疎を解消する有効な方法である

